

# 令和5年度議会報告会(意見交換会)における発言内容報告書

開催地区:八名地区 開催日時:令和5年9月28日(木) 午後7時00分 ~ 午後8時40分 開催場所:一畷田公民館 担当議員:6名 (氏名:中西宏彰、山口洋一、浅尾洋平、鈴木長良、竹下修平、カークランド陽子) 参加人数:男性 29名、女性 2名 計31名	報告者  カークランド陽子
---	---------------------

分類:●議会に関するもの ○市政に関するもの 対応:①回答(処理)済 ②聞き置いた事項(含む情報提供)

No.	市民の発言内容	議会(議員)の発言内容	対応			キーワード
			分類	番号	担当	
1	議会改革の政務活動費の見直しとはどのような内容か。	議会改革特別委員会では、政務活動費の運用指針の見直しを行っている。使用して良い内容について、有識者の意見をきく研修会を開いたりして、見直しを検討している。現在見直しの最終段階に来ている。	●	①	鈴木長良	議会改革 政務活動費
2	新城設楽風力発電事業の請願について、この請願によって事業の中身にある程度影響を与えられるようなことがあるのか。	この事業はすでに2年くらい前から計画が進んでいるにもかかわらず、地元の人ですら事業の存在すら知らない状況だった。まずはメリットデメリットを含む説明会をしっかりと欲しいというもの。これを受けて作手 で10月14日に説明会開催予定。新城や鳳来でも年内に開催予定と聞いている。	○	①	カークランド陽子	風力発電設備
3	政務活動費の見直し進行形とのことだが、18名中4名は活動費を受けていない。交付を受けていないということは、ほとんど議員活動をやっていないと捉えて良いか。そうでないなら具体的にどういった活動をしてきたのか、活動したなら成果があったのかなかったのか。交付を受けなかった理由は？	<p>山口洋一、中西宏彰、山田辰也、柴田賢治郎の4名が使っていない。私はできるだけ市民のお金を使わずに自分のお金でやろうということ。5年度は申請した。自分は毎年度全国の大会やシンポジウムなど出ている。本来なら交付を受けてしっかり正しく使っていれば良い。が、このお金を使って本来の目的でない使い方をしていく例が過去にあり、それを是正するべきということがあった。</p> <p>以前問題になった政務活動費の問題については事務局の手違いなどがあったので一部修正などはした。それを踏まえ、裁判が長引くと市民の税金がさらに使われてしまう。そういった配慮もあったと思う。そういったこともあり、謹慎の意味を込めて自費で活動しようと思っていたところにコロナになり、たまたま使わずに済んでいた。今年度は交付申請している。</p>	●	①	山口洋一  中西宏彰	政務活動費
4	一般質問の通告時間が少ない人がいるが、60分未満が3名くらいいつもいる。市民を代表して登壇しているので、時間を有効最大限使って市民の期待に応えていただきたい。以前も同じ指摘をしたがそれ以後も60分未満の人がいる。毎回60分通告の議員が17人中7人。議会改革と言っているが、しっかり勉強して60分使って欲しい。	コロナの関係でなるべく短くしようという話があった。豊橋や豊川は止めたこともあった。が、本市においては時間を短くしてでもやろうということになった。原稿を自分で書かないと60分喋れない。そのことはよく常任委員会で議員に周知をしていきたい。	●	①	山口洋一	一般質問

No.	市民の発言内容	議会(議員)の発言内容	対応			キーワード
			分類	番号	担当	
5	テレビやパソコンで見ている人もたくさんいる。市民もそれによって勉強や情報収集になるので本当にしっかり一般質問は端折らずにやって欲しい。市民の代表であり市民にも情報収集してもらいたいという気持ちもあるので、目いっぱい一般質問などの活動して欲しい。	しっかり全議員が60分使って行えるよう、また市民の皆さんのご意見も賜っていきたい。	●	①	鈴木長良	一般質問
6	当該事業所北側の壁面は錆が浮いている。発酵を促す機械が7機あるはずだが、ここ最近いつの間にか撤去されている。ロックワールが機能していないのでは？匂いがすごい。特に交差点のあたり。10年間何にも改善されていない。職員が自宅に来て話をしたのは1回だけ。行政が市民からの声(事実)をねじ曲げて、事実にしてしまうという事実がある。計測してみたら基準以下との繰り返し。最初に言っていたのは匂いがしない、少しする、明らかにするの3段階だった。匂いがするから訴えているのに、おかしい。事前通告したような計測の仕方はおかしい。市民をしっかり見てほしい。スマートインターができれば県外の人も来る。新城市の門になるのにこんな悪臭は新城市の恥。	結果的に何をしているのかと言われても仕方がないが、八名区長会で基準値オーバーしていることを問題視してこのような状態で更新はあり得ないのではないかとということも県に聞いたり部署と直談判しながら努力は区長会でも八名区として大問題だとして捉えている。県の部長さんと話す中で大村知事がこの問題で再許可をしないということもあり得ないということも聞いた。一回許可を出してしまうとなかなか操業を止めたり許可を出さないということとはできない。地域にとって不幸なことだし申し訳ないと思っているが、結果として期待に応えられていないのは事実。しかし、努力はしていることも事実なので、承知してほしい。	○	①	中西宏彰	公害対策
7	太陽光発電の件。南部の地域見渡す限り太陽光パネルばかり。これは健全なのか。桜淵の県指定の公園の中なのに。こんなパネルだらけの街にして良いのか。入ってくる業者を調べたら全部外資系。再エネ賦課金で国民が負担しているということ、市は市民に知らせるべき。山を皆伐して木をなぎ倒して作るからこの間の大雨では流れた赤水が道を塞いだが、市は何もしていない。先日、市が測量していたので聞いたら太陽光発電ができるとのこと。区長も知らなかった。市はしっかり業者に条例を周知して指導できないのか。業者曰く新城市は本当に楽な市だ。書類を出せば一発でハンコをもらえる。他の市町はいろいろ注文つけられる。こんな楽な市町はない、とのこと。新城市も議会もなめられている。そんなことだから見回す限り太陽光パネルになってしまった。正規な工事をしていない。責任者の表示もない。環境課はそれを指導にも入っていない。そういうことがのうのうと業者はやっている。住民が危険にさらされているということ、知ってるのか。200ボルトの電気が発生する。一髪さわれば死ぬような電気の量。台風でパネルが飛ぶこともある。大雨が降って赤水が流れて干潟を汚染する。誰が責任を取るのか。	今まで規則だけで運用していたのを今回初めて条例にした。結局条例にしても言われたようなことが起こっているなら、条例ではざるになっていると認識する。条例を補足するなど市議会ですべていかなければならないと確信した。看板も小さく書いてあったり説明会の日にちがなかったりと不備の看板を立てて進めようとしている業者もいる。そこをしっかりと市が入って取り締まることが行政には求められる。この声を環境政策課にしっかりと伝えていく。	○	①	浅尾洋平	太陽光発電設備

No.	市民の発言内容	議会(議員)の発言内容	対応			キーワード
			分類	番号	担当	
8	太陽光は割れて中のシリコンが流れ出すと、劇物。特に外国産は何が入っているかわからない。市はしっかり市民に周知すべき。雨の水は側溝に流すようしなければいけない。1つ1つのパネルは小さいが重なればメガ発電と同じ。台風で飛ばされたものも飛ばされないようしっかり業者に指導すべき。電気だということを十分理解すべき。子供が死んだらどうするのか。	区長自ら電話したが、中には電話が通じない若しくは専門の業者(苦情相談の)がいる業者がある。地域の方がしっかりした目で見なければいけないと思う。馬防柵のことが新聞に載った。かなり広い範囲に新城市のそう言ったことが訴えられた。事業者は新しい条例に基づいて説明会の告知を出したが、その看板はかなり小さい。是正を求めるよう話をした。全域を確認なかなかできないので、情報があれば言ってほしい。	○	①	山口洋一	太陽光発電設備
9	改善しないとなんともならない。いくら偉い人と話しても、こちらの生活水準はよくなる。毎日窓を開けて匂いの観察している。工場の劣化。壁面の錆とロックウールの問題。錆びると穴が開いて匂いが出てくる。その改善策を当該事業者にとってほしい。	木の建屋の鉄板は劣化している。一部は直したと聞いているが全ては直っていない。ロックウールの経路のラインが詰まっていると思う。作業車が1週間に1・2回外に出ている。今後詳しく追求していきたい。 今はハエの問題もある。最初に行った約束が守られていないと思う。最初悪臭は漏れ出さないとはいったはず。土日も作業をやっているのではという声もある。初めの約束が守られているのかということが問われているので、市と確認しながら詰めていきたい。	○	①	山口洋一 浅尾洋平	公害対策
10	太陽光発電に関して、昨年度までの「指導要綱(新城市太陽光発電設備の設置に関する指導要綱)」では地元説明会の報告書に区長の証明を附していたが、今年4月施行された条例では、事業者が(近隣)説明会を開催してその実施届を提出すればよいことになっている。区長の負担は減ることになったが、説明会が適切に行われたか、その記録は正確か、市役所はどうやって判断するのか、説明会で課題が残っていればどうするのか疑問に思う。太陽光発電に関して議会は5年程前に国に意見書(「太陽光発電設備の立地規制等に係る法整備を求める意見書」)を提出している。そのときに様々な懸念を検討されたと思うが、議論を積み上げて行って欲しい。太陽光の条例は区長の負担(責任)を減らすことにもなるが、「産廃条例」では関係地域の区長に「環境保全協定」の締結を義務付けている。これはアンバランスではないか。また、太陽光発電に関しては地主の意向が大きい。地主と直接話すことが大事でそれによっては地主が諦めることもあるが、農業を続けられないからという事情は大きい。農業・農地をどうするのか困っているのが実情。9月の経済建設委員会は付託事項が無いとのことだが、なにもしなかったのか。(農業振興や耕作放棄地対策など)自主的に課題を設定して審議することはないのか。	地域にこのような問題が実際にある。これを市にあげていけるようにしたい。太陽光の条例にはこうやってください、確認と訂正しますというはあるが、一番問題があるのは事業主が来てやりたいと言って事前審議に入る。これを庁内で審議をしなければならぬとなっている。議会が承認して一発で通った条例がある。市長提案の条例が挙げたら、十分に議論する、決したら責任を持つということが大事。皆さんのご意見をもとに、議会運営委員会に報告し、調整していきたい。	○	①	山口洋一 鈴木長良	太陽光発電設備
11	太陽光は地主さんにも止むに止まれない事情もある。地主の問題はある。これは、農業の問題だ。経済建設委員会で負託議案なしということだが、自ら問題を設定して審議することがあっても良いのではないのか。	地域に実際問題としてあるので、必要に応じて市、行政に意見を申し述べていきたい。	○	①	鈴木長良	太陽光発電設備 農業

No.	市民の発言内容	議会(議員)の発言内容	対 応			キーワード
			分類	番号	担当	
12	給食センターについて。だんだん予算が上がっている。一体いくらお金がかかるのか知りたい。詳しい話を市民として知らない。個人として造る場合必ずいくらかかると決めた上でやる。ましてこれだけの大きな事業をやる場合は後から、もう止められないから補正予算で出すしかないとか見えないうち。賛成した議員に聞きたい。いくらかかるのか、10校の受入施設の見積もりしか出ていないと聞いたが、そこも教えてください。	言われる通り、自分たちも予算が最初30億云々と言ってからどんどん増えてきているということはよく理解していないうちに受け入れの方とか出てきた。その辺は問題があると思うが、大きな舵を取るために共同調理場や受け入れだけでなく直したりするのにどちらにしても莫大なお金がかかる。公聴会や検討会議を踏まえた中で大きな決断をしたことに賛同したことは確かだが、予算が増えていることも事実。ここまでできて中途半端なことではできない。議決責任で賛成したことに責任は感じているが、いかに無駄なくできるかということをやっていくしかない。	●	①	中西宏彰	学校給食
13	受け入れ(学校給食受入施設)だけで5億とか6億と聞いている。なぜ一般会計(当初予算)の時に出してこないのか。	予算は国からの補助とか補正で色々つくし、細かい内容はわからないが、市債や色々なところから出てくる。金額は間違った数字を言うてはいけません。	○	①	中西宏彰	学校給食